

A collage of diverse people's faces, including men and women of various ethnicities, arranged in a grid-like pattern around a central white text box. The individuals are shown from the chest up, with some wearing professional attire and others in more casual or traditional clothing. The background of the collage is a mix of colors and textures, suggesting different environments.

北京+25レビューへのユースの 参加について

山口慧子（日本YWCA幹事・
北京+25ユース・タスクフォースメンバー）

北京+25ユース・タスクフォース

BEIJING+25
YOUTH TASK
FORCE

- 北京+25のレビュー（CSWやGeneration Equality Forum）にユースの参加を促し、ユースの多様な声を反映させるためにUN Womenによって設立された市民社会代表のユースのグループ
- 世界30名のユースで構成
- UN Womenは“Generation Equality”キャンペーンを開始、その一環
- CSWでも、ユースの参加に力を入れてきた。
 - CSW60 : Youth Forum
 - CSW61 : Youth Forum
 - CSW62 : Youth Dialogue
 - CSW63 : Pre-CSW Youth Forum/ Interactive Dialogue/ Youth Mobilization Space

A Roadmap to the Beijing Declaration and Platform for Action 25th Anniversary Commemoration

While on the road to commemorating the 25th anniversary of the Beijing Declaration and Platform for Action, the following are a few key moments for UN Women to engage with gender equality advocates everywhere:



CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- 日時：2020年3月9日（月）12:00～16:00
- 目的：The Youth Global Review of the Beijing Platform for Action (BPfA)
- 協議結果は**Youth Global Review**としてまとめられ、CSW64やGeneration Equality Forumといった北京+25のレビュー過程へユースの視点を入れ込むために用いられる
- 定員：100名



CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- 選考基準：

1. Regional and geographical balance.
2. Compliance with age requirements.
3. Interest and motivation.
4. Adherence to the leave no one behind principle ensuring diverse representation across intersectional complexities, including marital status, disability, sexual orientation, gender identity and expression, indigenous and ethnic identities, and refugee or migrant status.
5. Proven experience in youth mobilization and implementation of the Beijing Platform for Action.

CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- 選考基準：

6. Priority will be given to Beijing+25 Youth Task Force members, participants of the regional reviews and members of the B+25 Regional Steering Committees, Governmental Youth Delegates, youth peace and security activists and young women human rights defenders.
7. To ensure that the dialogue is youth-led, 50% of seats will be allocated to applicants under the age of 25 and priority will be given to first time CSW attendees.
8. Applicants are required to fill out a questionnaire to express their interests, skills, experience and knowledge about the Generation Equality Campaign and Beijing Platform for Action, how they plan on implementing their objectives for youth mobilization after CSW64.

CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- 選考基準：

9. Youth advocates that have work experience in one or more of the 6 thematic clusters of the Declaration and Platform for Action review process,
 - ① Inclusive development, shared prosperity and decent work,
 - ② Poverty eradication, social protection and social services,
 - ③ Freedom from violence, stigma and stereotypes,
 - ④ Participation, accountability and gender-responsive institutions,
 - ⑤ Peaceful and inclusive societies,
 - ⑥ Environmental conservation, climate action and resilience-building.

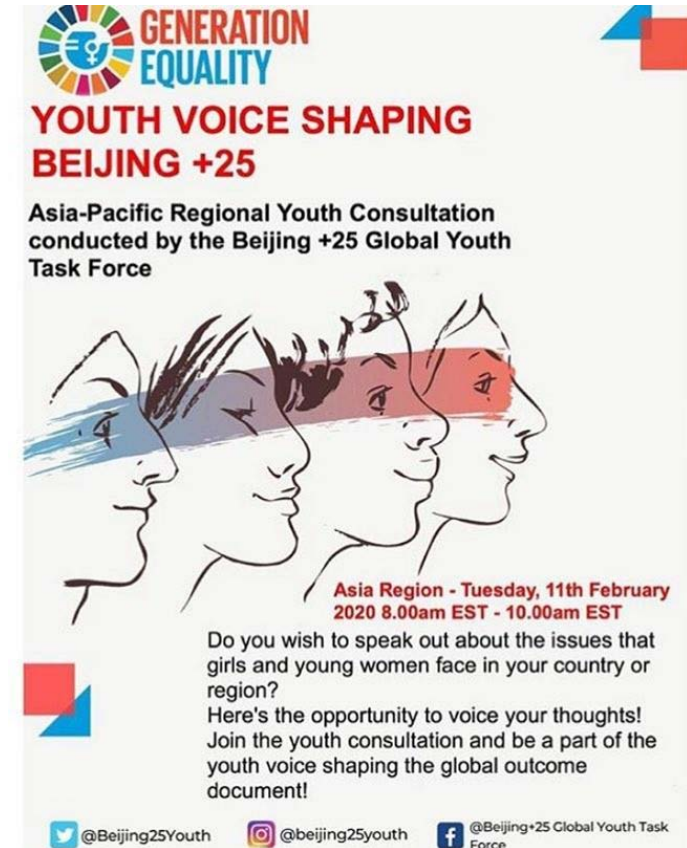
CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- 選考基準：

10. Priority will be given to applicants that represent broad networks, youth organizations, and civic movements from the following constituencies; rural, indigenous, lesbian, bi, and queer young women, trans, intersex, and gender non-conforming young people, disability, child widows, child brides, young women living with HIV, young workers including migrant workers and domestic workers, young migrants and refugees.

CSW64でのユース関連イベント（Youth Dialogue）

- **”Youth Global Review”のZero Draft作成中**
 - 材料① Global Youth Survey（回答100件以上）
 - 材料② Regional Review
（eg. アジア太平洋地域 2019年11月27日～29日）
 - 材料③ Regional Online Youth Consultation
（eg. アジア対象 2020年2月11日 40名参加
アジア太平洋地域対象 2020年2月20日 19名）



Regional Online Youth Consultation（アジア地域より）

【ジェンダー平等に向けた成果】

- インドでは生理用品に12%の税金が課せられてきたが、市民からの反対の声を受けて免税対象になった。
- 反家庭内暴力法が2015年に制定され、2016年から施行されている。
（中国）
- フィリピンでは、教員や看護師を含む政府職員の手取給与を増やす法律（Salary Standardization Law）が2020年1月より施行された。
また、HIVとAIDS政策法が採択されたことで、証拠に基づくHIV予防やHIVの感染状態に関する情報入手が容易になった。
- DV被害者のためのホットラインが作られた（バングラデシュ）
- ニューサウスウェールズ州が中絶を非犯罪化した（オーストラリア）

Regional Online Youth Consultation（アジア地域より）

【現在まだ解決されていない課題】

- 労働運動にあまり女性リーダーがいなかったため、階級の視点はあるものの、ジェンダーの視点からの問題提起が十分になされていない。
ドゥテルテ政権下で加速する「麻薬戦争」の直接的な被害者は主に男性だが、葬儀を行いその後の生活を支えていく女性の経済的負担について語られることはない。（フィリピン）
- 隠しカメラを設置して女性の裸を撮影し、ネット上に挙げる事件が多発しているが、インターネット上での性暴力を法的に罰することが難しい。（韓国）
- 性と生殖の健康と権利に関する教育がなされていないことが、メンタルヘルスの不調に繋がっている。（スリランカ）
- 性暴力や性差別に関する法律は作られているが、その過程で、最も被害を受けやすい女性や若者、マイノリティへの相談がないため有効な法律になっていない。（インド）

Regional Online Youth Consultation（アジア地域より）

【課題解決のための提案】

- ジェンダーの課題に対応するための十分な予算が割り当てられることが必要。（スリランカ）
- 留保制度を設け、一定のユース・女性政治家の割合を確保すべき。（インド）
- 公教育には限界があると思うので、特にスティグマ化されたトピックに対してはインフォーマルな場での教育の可能性を探るべき。（日本）
- 政府・市民社会・民間企業間のパートナーシップを模索する（フィリピン）

CSW64でのユース関連イベント（Interactive Dialogue）

- 日時：2020年3月16日（月）10:00～13:00
- 会場：国連本部
- 1995年の北京会議に参加した「北京ベテラン」と、今日の若い世代間での多世代間対話
- 3部構成：
 1. 北京会議参加者とユースアクティビスト間での対話
 2. 世代を通じたジェンダーの課題と運動の変化についてディスカッション
 3. 若い参加者・CSWのユース代表が上記1、2のディスカッションをまとめる
- 協議結果はユース代表と事務局メンバーとの相談の上、議長概要（Chair's summary）としてまとめられる

「北京+25 日本版ユース・レビュー」について

- 日本の若い世代の多様な声を集め、国内外の政策提言の場に反映するために「北京+25」ユース・アンケートを実施。
- 回答は集計し、日本語・英語で「北京+25 日本版ユース・レビュー」として文章化。その後、CSW64を始めとした「北京+25」レビューでのアドボカシー活動に用いる。

⇒CSW64での”Youth Global Review”のZero Draftへ

- 対象：おおむね30歳以下のユース
- 共催：アジア女性資料センターユースグループ、公益財団法人日本YWCA
- 実施期間：2月7日（金）～21日（金）14日間
- 有効回答数：57件

「北京＋25ユース・アンケート」質問事項

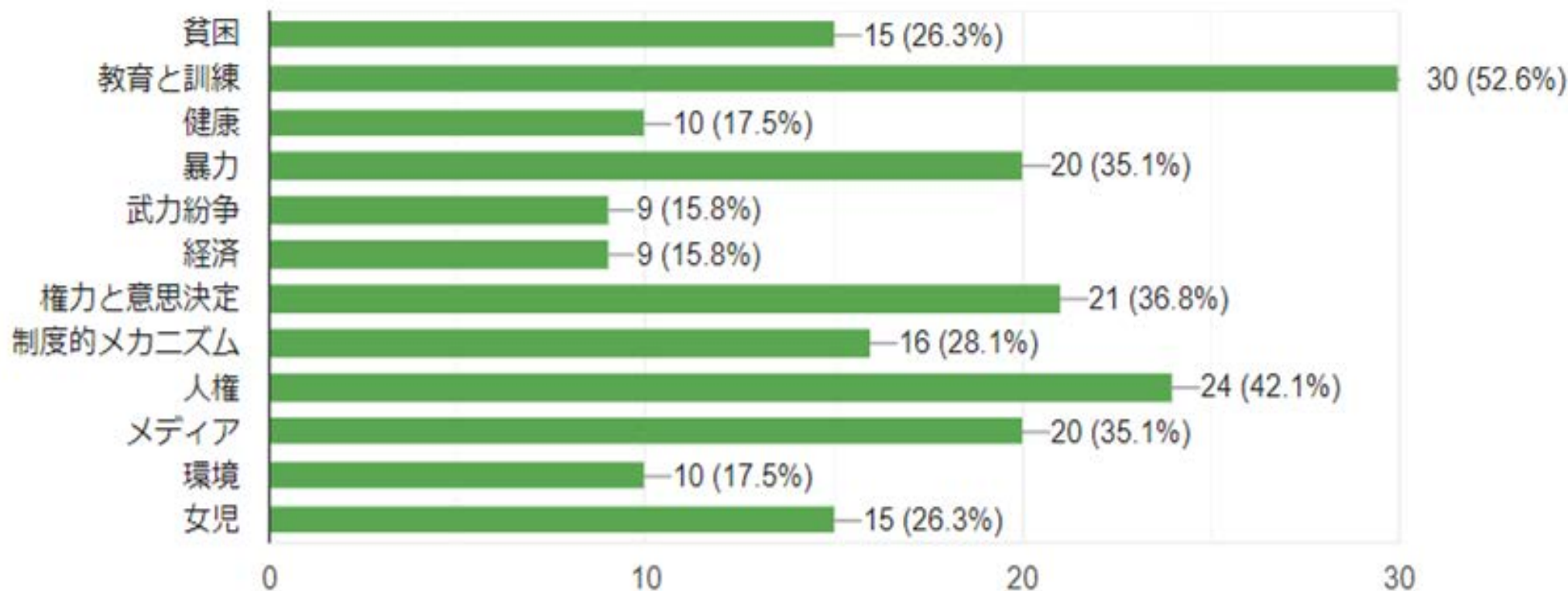
1. 名前／グループ名
2. 年齢
3. メールアドレス
4. 職業
5. 日本のジェンダー平等に関してあなたがとくに課題だと感じていること3つを上げてください。
6. 1995年に開催された第4回世界女性会議（北京会議）で採択された「北京行動綱領」には以下の12の分野について取り組むべきアクションが書かれています。以下の分野から政策を決定する人たちにあなたが意見を伝えたい分野を選択してください。
7. 上記で選んだ分野について政策決定者に伝えたい意見、提案したい政策を書いてください。

「北京＋25ユース・アンケート」質問事項

8. 「北京行動綱領」にある項目以外で、現在、若い女性や女兒が直面しているジェンダーの課題があると思いますか？
(例：インターネット上でのハラスメント)
9. ジェンダーに基づく格差をなくすために、若い世代はどのような役割を果たすべきだと思いますか？
10. 現在、若者はジェンダー格差の問題に関する有意義な参加ができていると思いますか？
11. 若者の意見はどこに、どのように反映されるべきだと思いますか？
12. 若者の意見に対して、政府が責任をもって行動するためには、何が変われば良いと思いますか？
13. どうしたら、ジェンダー平等に向けて行動し、結果を評価・検討する過程に、若者の積極的な参加を保障できると思いますか？

「北京＋25ユース・アンケート」回答結果

6. 1995年に開催された第4回世界女性会議（北京会議）で採択された「北京行動綱領」には以下の12の分野について取り組むべきアクションが書かれています。以下の分野から政策を決定する人たちにあなたが意見を伝えたい分野を選択してください。



「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《北京行動綱領12分野に関して》

A. 女性と貧困

日本では、女性の相対的貧困率が深刻だ。とくにシングルペアレントの貧困対策、福祉政策の充実が必要。経済的格差の是正はグローバルレベルで取り組まれるべき課題。また家族単位ではなく、個人単位での社会保障の充実が必要である。

B. 女性の教育と訓練

若い女性たちが女性だからという理由で夢を諦めたり、自ら選択肢を狭めている。また、セクシャルハラスメント、性暴力、望まない妊娠などの問題も深刻な状況。ジェンダーに関する教育が不足していることは深刻な問題。幼少期からあらゆる教育レベルで、性差別の解消や人権尊重を基盤としたジェンダー平等観の形成を目指す包括的性教育の導入が重要。指導者への研修も必須である。更に、医大入試で女子受験者の点数を一律減点する事件が後を絶たない。すべての教育機関の入学試験において女子受験者に不利益がないように徹底調査することが必要。

「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《北京行動綱領12分野に関して》

F. 女性と経済

男女間賃金格差はいまだに是正されていない。非正規雇用の7割が女性であり、また家事労働負担は女性に偏っている。産前産後休業、育児休業制度が現場で運用されていないため、妊娠・出産を機とする女性の離職率が高い現状がある。一方、男性は育児休暇を取得しない／できない環境が続いている。男性の長時間労働も深刻だ。同一価値労働同一賃金の法整備による男女間賃金格差の是正と、誰もが働きやすい環境を整備するための政策が求められる。

G. 権力及び意思決定における女性

組織の意思決定機関に女性が少ない／いない。戦前の男尊女卑回帰を目指す政治家が多数おり、またセクハラ発言が後を絶たない。司法、政治、企業などあらゆるレベルの意思決定の場でジェンダー平等を実現する必要がある。

「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《北京行動綱領12分野に関して》

H. 女性の地位向上のための制度的な仕組み

性暴力根絶、選択的夫婦別姓導入、同性婚導入等の法整備が必要である。また性暴力被害者に対する警察やメディアからの二次被害も深刻。性暴力の被害者支援を含む社会保障費への十分な国家予算の割当が必要。

J. 女性とメディア

女性蔑視的表象や性別役割分業意識、ルッキズム（外見差別）の強化に加担するようなメディアは問題。メディアコンテンツに影響力を持つ理事会や管理機関に携わる女性の割合を増やし、ジェンダーに基づく固定観念の排除を目指すことが必要。

「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《北京行動綱領12分野に関して》

L. 女児

中高生を含む女児に対する性暴力被害が深刻だ。あらゆる形態の暴力、および二次被害から女児の安全を保護する法律の制定および施行が必要。性暴力にあった女児への支援体制を充実したさせ、適切な予算配分を行うことが課題。

「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《「北京行動綱領」にある項目以外のジェンダーの課題》

- ファイル共有機能「AirDrop」を使い猥褻な画像を送りつける「AirDrop痴漢」や、性的な画像・動画を被写体本人の承諾なく公開する「リベンジポルノグラフィー」、マッチングアプリで出会った相手からの性暴力など、インターネット上での性暴力が横行している。
- 障害を持つ女性や、性的少数者の女性などマイノリティ女性が直面する複合差別が深刻。複合差別の被害者に対するより積極的な社会保障制度が必要である。

「北京+25 日本版ユース・レビュー」 《意思決定の場に多様なユースの声を反映するための提案》

- 意思決定機関における女性や若者の割合を増やすためにクォータ制度の導入。
- 教育機関等と連携しながら、全国の若者代表を招集し、国・都道府県・市区町村レベルで政治家と対話の場を設置する。協議結果は一般に公開し、また協議結果が実行されるように公約を結ぶ。
- 若者が直面するジェンダーの課題への調査を綿密に行い、現状を正確に把握する。そのために、調査機関（半数は若者で構成）を設置し、ジェンダー平等に関する専門家機関として、定期的に政府に対して調査結果を開示し政策改正の提案を行う。
- 北京行動綱領の12分野の実施状況をモニタリングする第三者機関を設ける。